



2025年 9月25日

京都府×インドネシア・ジョグジャカルタ特別州 アジア地方行政セミナー（参加者：約200名）

京都府は世界中の7つの地域と友好提携を結んでおり、インドネシア・ジョグジャカルタ特別州とは1985年に友好関係の確立に関する協定（MOU）を締結しており、2025年に40周年を迎えた。子ども絵画交換プログラムなど、長きに渡る交流を続けている。



両自治体の共通課題として、伝統産業・文化財保護分野での交流が盛んで、同分野での職員相互派遣による技術交流や新たな工芸品開発などが行われている。こうした地域特性を生かした国際交流の取組が評価され、2010年には総務大臣賞を受賞した。最近では、ジョグジャカルタ地方の伝統菓子が日本のアニメキャラクターを使用したパッケージで発売されるなど、新たな動きも見られる。



節目の賑やかな周年イベントに加えて、今後は学生や若い世代の交流・人材育成、文化芸術・伝統産業分野での経済交流、新たに農業分野での連携など、より深化した取組が期待される。

2025年10月28日

島根県美郷町×インドネシア・マス村

インドネシア国家行政院セミナー（参加者：約800名）



美郷町は、1982年の島根県国民体育大会で当時の邑智町がカヌーの競技開催地になって以降カヌーによるまちづくりに取り組んでおり、1991年に開館したカヌー博物館に展示するカヌーの制作にあたって、インドネシア・マス村から2人の職人を招いたことをきっかけに、1993年、両自治体の交流が始まった。

両自治体は盛んに人的交流を行っており、友好訪問団の相互派遣や高校生の交換留学のほか、2019年に締結した協定に基づく技能実習生の受入れも行っている。実習生の受入れに関しては、マス村のみならず、同村が属するバリ州、ギャニアール県とも支援、交流推進を確認している。



美郷町では、2024年に「バリの町条例」を制定し、「バリの町室」という組織を設置、友好協定締結日である9月10日を「バリの日」と定めており、今後も、国際交流員（CIR）の活動や町内外有志によるバリ島の伝統楽器ガムランの楽団、中学生バリ訪問団など、町民と一体となった国際交流を推進していくこととしている。



2026年1月30日

茨城県結城市×タイ王国メーサイ市

タイ内務省地方自治振興局セミナー（参加者：約200名）

茨城県結城市とタイ王国メーサイ市との交流は、単発的な事業ではなく、長年にわたる人的・文化的交流を基盤として発展してきた。国際協力事業や人的交流事業を通じた相互訪問により、両市の行政関係者や市民の間に信頼関係が醸成され、草の根レベルの交流の継続が都市間連携へと発展する土台となった。両市内に所在する城西病院とメーサイ病院等の交流を契機に、平成24年11月19日に国際親善姉妹都市盟約が締結された。

具体的な取組として、メーサイ市から結城市への渡航研修や3か月の滞在型研修が実施され、行政運営のほか、地域づくり・産業振興・教育・福祉など多分野の関係者との意見交換が行われた。参加者からは、多様な立場の人々との交流が非常に貴重な経験であったと評価が高く、相互理解を深める有効な国際交流モデルとなっている。

今後は、職員研修などの行政交流に加え、結城市国際交流協会や茨城県国際親善厚生財団（IIFF）による市民主体の民間交流の発展も期待される。結城市からは国際交流を「特別なもの」とせず誰もが参加しやすい形で継続すること、またメーサイ市からは規模に関わらず途切れなく交流を続けることが、相互理解と信頼関係深化の鍵であると説明があった。